学校目標『元気いっぱい　自分から学び　共に高め合う西与賀っ子』の育成

にしよかっ子

令和　8月　11月13日（金）
文責　校長　大石　文枝　第14号
☎ 0952-23-6300

㋣こにこあいさつする子　㋫しっかり勉強する子　㋬ろこんで働く子　㋐らだをきたえる子　㋑ながり学び合う子　㋒ころをみがく子

■「あなたは何のために働いているのですか？」「勤労感謝の日」にちなんで

「あなたは何のために働いているのですか？」と問われれば、何と答えますか。「生活のため」「自分の能力を生かすため」「社会の役に立つため」…。どれも大切な答えです。そして、多くのお父さん、お母さんにとっては、「家族の笑顔のため」「子どもの未来のため」という思いもあるのではないでしょうか。11月23日は「勤労感謝の日」です。「勤労感謝の日」は、働くことの尊さや、日々の仕事に感謝する日です。毎日忙しく働き、家族を支えてくださっている保護者の皆様には、心から敬意を表します。

一方で、子供たちは、お父さんやお母さんと過ごす「時間の長さ」よりも、「自分を見てくれた」と感じる「時間の質」を大切にしています。忙しい毎日だからこそ、一日五分だけでも、ぜひ、お子様と向き合う時間をつくっていただければと思います。

例えば、「今日、一番楽しかったことは何？」「困ったことはあった？」と目を見て話を聞くこと。一緒に宿題を少しのぞいてみること。「ありがとう」「頑張ったね」と言葉をかけること。寝る前に絵本を一冊読んだり、今日の出来事を笑顔で話し合ったりすること。そんな何気ない五分間が、お子様にとっては「自分は大切にされている」という安心感につながります。子供の心は、毎日の小さな関わりの積み重ねによって育ちます。親の温かなまなざしや言葉は、自己肯定感を育み、困難に立ち向かう力の土台となります。逆に、どんなに高価な物や特別な体験よりも、家族と笑顔で過ごした短い時間の方が、子供の心には深く残るものです。

私も3人の子育てをしましたが、子供はあっという間に成長します。「また今度」「もう少し落ち着いたら」と思っているうちに、その「今」は過ぎていきます。働くことは家族を支える大切な営みです。そして、その働く目的の一つが子供の幸せであるならば、一日五分間の親子の時間は、何ものにも代えがたい未来への投資ではないでしょうか。「勤労感謝の日」を機会に、ご家庭で「五分間の親子時間」を始めてみませんか。その小さな積み重ねが、子供たちの豊かな心を育み、家族の笑顔をさらに増やしていくことへつながるにちがいありません。

■ 第3回学校運営協議会

10月22日（木）、今年度3回目となる学校運営協議会を開催しました。今回は、学習状況調査の結果や学校評価の中間評価について説明・協議を行うとともに、給食の参観・試食、総務委員会による「子供未来プロジェクト」のプレゼンを行いました。

学校評価では、進捗度の低かった項目について、後期に向けて具体的な改善策を考え、取り組んでいくことを確認しました。また、給食の時間には、委員の皆さんが放送を通して子供たちをほめてくださいました。「スーパーほめほめマン」の登場に、子供たちは放送に釘付け！。笑顔あふれる楽しい時間となりました。

会の最後に行ったプレゼンには斎藤 PTA 会長も駆けつけてくださいました。総務委員会の子供たちは、全校児童の願いである「学校がもっと楽しくなるためのもの」として、「バスケットリングとボール」の設置を、学校の代表として堂々と提案しました。運営委員の皆さんからの質問にも、自分たちの考えをしっかりと伝える姿が見られ、「素晴らしいプレゼンでした」とのお褒めの言葉をいただきました。今後、この提案は PTA 常任委員会でも協議される予定です。子供たちの思いが形となり、学校生活がさらに楽しくなることを願っています。



子供たち、プレゼン中



スーパーほめほめマン、ほめほめ中

■ 5年生　自分たちで考え行動した宿泊学習

10月29日（木）、30日（金）の2日間、5年生が北山少年自然の家で宿泊学習を行いました。北山に到着し、出会いの集いを終えると、早速、北山湖の周りを巡るフィールドビンゴに挑戦しました。地図を頼りに、班の仲間と協力しながら問題を解いていきました。ひんやりとした北山の空気を胸いっぱいに吸い込み、西与賀小学校の周辺とは違う山の自然の豊かさを肌で感じることができました。午後はアートクラフトに挑戦。木の実や木々などの自然の素材を使って、壁掛けや置物を制作しました。一人一人の感性が光る、世界に一つだけのオリジナル作品が完成し、子供たちは大満足の様子でした。夜は雨の予報のため、キャンドルの集いを行いました。厳かな雰囲気の中で、これからの生活で頑張りたいことを火に誓った後は、歌や踊り、クイズで大いに盛り上がりました。

二日目は、楽しみにしていた野外炊飯です。薪割りや火起こし、野菜切りなど、それぞれが自分の役割を果たしながら、班のみんなでカレーを作りました。「めっちゃおいしい！」という声があちらこちらから聞こえ、協力して作ったカレーの味は格別だったようです。一方、後片付けでは、鍋にこびりついたご飯やカレーの汚れを落とすのに大苦戦。指導員の方から何度もやり直しを求められた班もありましたが、最後まで粘り強く取り組み、合格をもらったときには、思わずガッツポーズが飛び出しました。

この2日間、仲間と協力し、時には悩みながらも、自分たちで「考え、行動する」5年生の姿がたくさん見られました。この宿泊学習で得た自信や仲間との絆、そして身に付けた力を、これからの学校生活でも大いに発揮してくれることでしょう。



火の調整に奮闘中！

■ 1・2年生　地域の皆様の温かさに包まれて、芋ほり体験

11月4日（水）、1・2年生が芋ほりを行いました。苗植えのときに引き続き、今回も地域の皆様がお手伝いに来てくださいました。子供たちが作業しやすいようにと、開始1時間以上も前から集まり、蔓を切ったり、マルチシートを外したりと、準備を整えてくださいました。芋ほりがスタートしたら、地域の皆さんに土をほぐしていただきながら、子供たちは夢中になって土を掘りました。「うんとこしょ、どっこいしょ！」と『おおきなかぶ』のように蔓を引っ張ったり、土の中に芋の先が見えると、さらに一生懸命に掘り進めたりと、歓声を上げながら楽しい時間を過ごしました。残念ながら、今年は夏の少雨と猛暑の影響で、収穫量は昨年度の半分ほどでした。しかし、そんな中、地域の皆様が「子供たち全員に持ち帰らせてあげたい」と、ご自分たちで育てておられた芋まで分けてくださいました。子供たちを思う西与賀町の皆様の温かい愛情に、心から感謝いたします。地域の皆様、今年も本当にありがとうございました。



でっかい芋、重たいな～

■ 6年生　出前講座「大切な人を詐欺から守るために」

11月6日（金）、6年生を対象に、詐欺の被害に遭わないための出前講座を行いました。

はじめに、駐在所の佐々木さんから、詐欺の被害件数や被害金額など、被害の現状について教えていただきました。想像以上に多くの人が被害に遭っていることを知り、子供たちは驚いた様子で話を聞いていました。次に、寸劇を通して、詐欺の手口や、どのようにして被害に遭ってしまうのかを学びました。私も、詐欺に遭う母親役として参加しました。息子が切羽詰まって電話をかけてくる場面では、我が子を心配するあまり、冷静な判断ができなくなってしまう怖さを実感しました。詐欺役を演じた佐々木さんの迫真の演技に、子供たちも引き込まれ、詐欺の巧妙さや恐ろしさを身近な問題として捉えることができたようです。学習の最後には、大切な家族や親戚が詐欺の被害に遭わないように、身内に宛てた年賀はがきを書きました。「詐欺に遭いませんように」という願いを込め、一人一人が真剣に言葉を選んでいました。今回の学習を通して、自分だけでなく、大切な人の命や財産を守ることについても考える貴重な機会となりました。



文字に思いを込めて